

活動のご報告

5月期は、技術開発委員会、令和4年度新規技術開発課題及び6月に実施される県市町村等林務担当者を対象としたニホンジカ被害対策研修に係る打合せ、「新たな獣害防除資材「単木柵」の現地検討会」に当センター職員が参加し技術情報を得たところです。

職員が参加した現地検討会について報告をします。

関東森林管理局 森林技術・支援センター

新たな獣害防除資材「単木柵」現地検討会に参加

令和4年5月19日 利根沼田森林管理署管内の国有林において、群馬県林業試験場及び関東森林管理局主催の「新たな獣害防除資材「単木柵」の現地検討会」が開催され、当センターから所長外3名が参加いたしました。

現地検討会の実施報告については、利根沼田森林管理署のホームページに掲載されていますので参照をお願いします。

また、単木柵の概要については、群馬県林業試験場ホームページの研究報告に掲載される予定です。

参加した職員から、ワイヤーメッシュを円筒形に加工した単木柵の設置は容易であること、防草シートによる防草対策を施したうえで単木柵を設置することから下刈作業の省力化に繋がること及び当該単木柵は円筒形であり植栽木と柵の間に余裕があり成長を阻害しないことが良い点であるとの感想がありました。



単木柵設置 その1
(防草シートによる雑灌木抑制対策作業)



単木柵設置 その2
(ウサギ等小動物の侵入防止対策として
単木柵下部寒冷紗巻付け作業)